

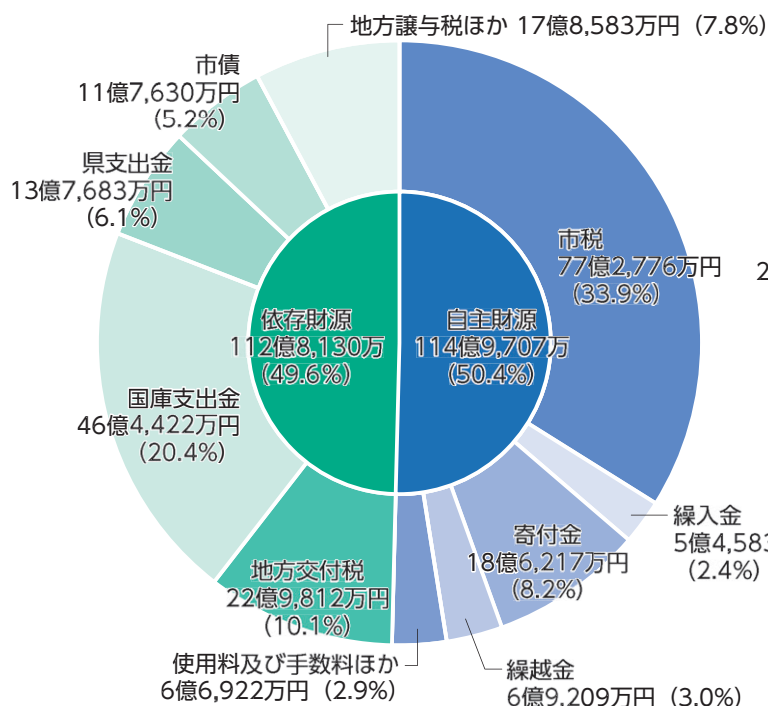
令和7年度 決算のお知らせ

市では、市民の皆さんからいただいた税金をはじめ、地方交付税、国庫支出金、寄付金などを財源として、住みよいまちづくりを進めています。令和7年度にお金がどのように使われたのか、一般会計を中心にお知らせします。

※歳入・歳出のグラフ内の金額については1万円未満を調整のうえ記入しています。

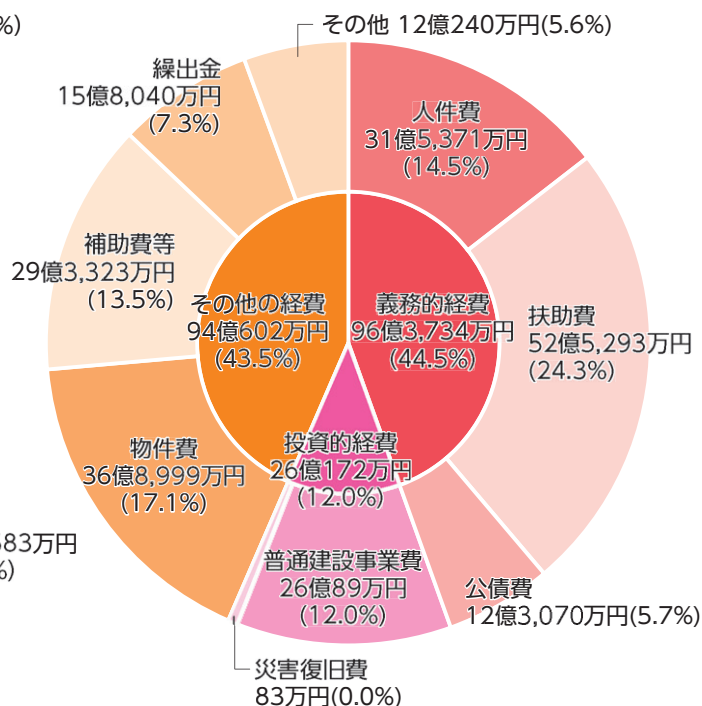
歳入 227 億 7,837 万円

▶前年度から約 15.6 億円の増



歳出 (性質別) 216 億 4,508 万円

▶前年度から約 16.9 億円の増



歳入は、ふるさと納税や市税収入の確保に努めたほか、物価高騰対策関連の国庫支出金が増加した結果、前年度比 15 億 6,418 万円の増となりました。

●市税 77 億 2,776 万円

▶前年度から 3 億 6,866 万円の増

※令和6年度は国の施策である定額減税によって一時的な市税の減少(約2億円)がありました。

●ふるさと納税 17 億 9,801 万円

▶前年度から 8 億 8,254 万円の増

●国庫支出金 46 億 4,422 万円

▶前年度から 5 億 2,809 万円の増

歳出は、物価高騰対策事業や「子どもの遊びと交流基地 miina」オープンに向けたハナトピア岩沼リニューアル事業などを行ったことから、前年度比 16 億 9,298 万円の増となりました。

●ハナトピア岩沼リニューアル関係 7 億 6,589 万円

●ふるさと納税関連経費(返礼品など) 8 億 5,876 万円

主な物価高騰対策事業

●子育て世帯支援のため給付した物価高対応子育て応援当事業 1 億 2,858 万円

●令和6年度に実施した定額減税補足給付金の支給額に不足が生じた方に対し、給付した不足額給付事業 1 億 3,316 万円

一般会計の市債(借金)と基金(貯金)

未来を担う子どもたちに大きな負担を残さないように市債残高の圧縮や貯金である基金の確保に努めました。

●市債残高 108 億 7,735 万円

▶前年度から 1,108 万円の減

●基金残高 116 億 857 万円

▶前年度から 7 億 9,229 万円の増

特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	41 億 5,833 万円	40 億 4,831 万円
後期高齢者医療	6 億 8,370 万円	6 億 6,633 万円
介護保険事業	44 億 8,350 万円	43 億 1,063 万円
矢野目西地区土地 区画整理事業	528 万円	475 万円

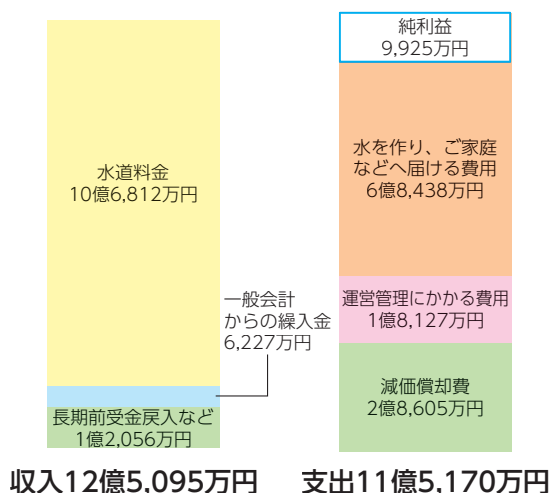
特別会計：国民健康保険や介護保険など、特定収入(保険料など)を財源とする会計

水道事業

令和7年度の水道事業は、19,235戸の世帯などへ5,340,640立方メートルの水を供給しました。建設工事に関しては、二本木通線配水管改良工事などの老朽管を耐震管へ更新する工事を行い、水道施設の整備拡充に努めています。

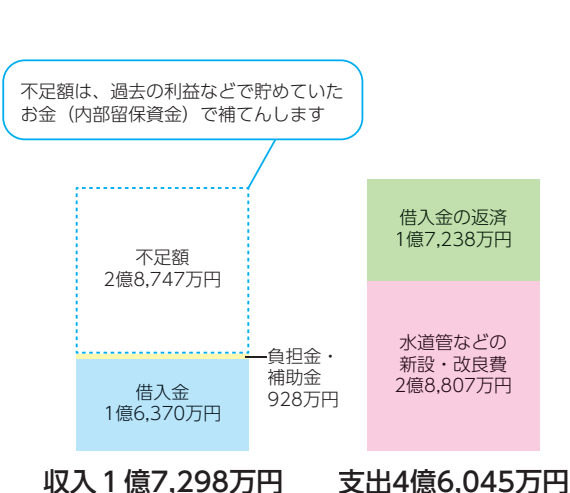
収益的収支（税抜）

水を作る、ご家庭などにお届けするなど、日々の運営に関する収入と支出



資本的収支（税込）

水道施設の整備、老朽管更新など、資産を作るための収入と支出

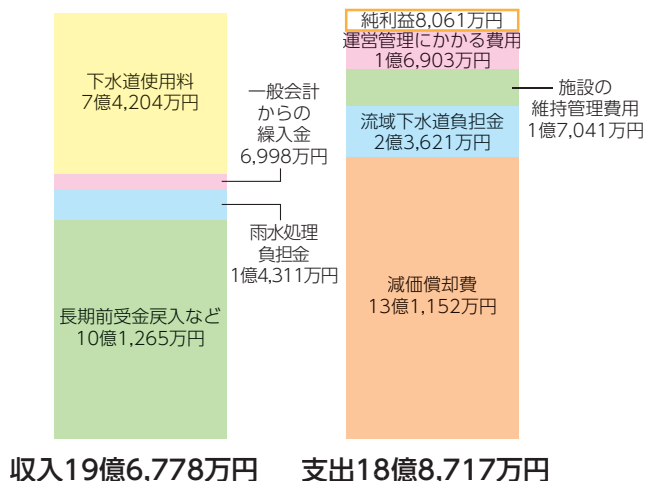


下水道事業

令和7年度の下水道事業は、18,408戸の世帯などから排出された汚水5,321,917立方メートルを処理しました。建設工事に関しては、二野倉雨水幹線工事やマンホールふたの改良工事を行い、施設の健全化や浸水対策などに努めています。

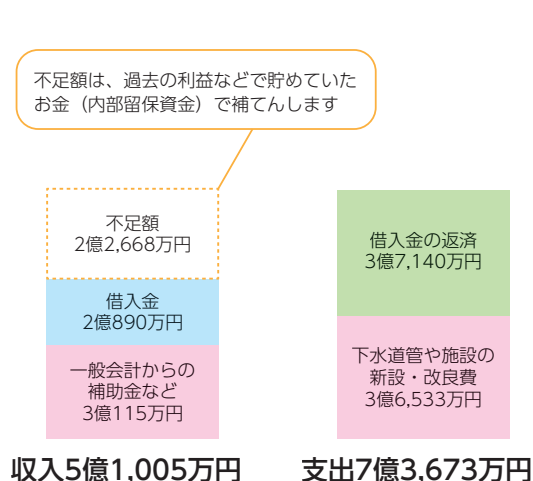
収益的収支（税抜）

ご家庭などから排出された汚水の処理や、雨水を川などに排出するための収入と支出



資本的収支（税込）

下水道施設の整備・更新・長寿命化など、資産を作るための収入と支出



POINT!

上下水道事業は市が経営する**公営企業**として、料金収入などをもとに**独立した会計**で運営しています。公営企業では、日々の経営をあらわす**収益的収支**と、将来のためにに向けた投資をあらわす**資本的収支**に分けてお金の流れを整理しています。

収益的収支では「日々の経営が成り立っているか」を見ることができ、こちらは上下水道事業ともに純利益（黒字）となっています。

資本的収支では「設備投資をどれくらいしているか・その資金はどうまかなっているか」を見ることができ、資本的収支は支出が収入より多くなるのが一般的なので、純利益や貯金（内部留保資金）で補てんします。

人事行政の運営等の状況の公表（令和7年度分）

問／総務課（☎ 23-0185）

令和7年度の市職員の給与などの状況に関して、市民の皆さんに一層の理解をいただくため、その概要をお知らせします。特別職の市長、副市長および教育長の給料は条例で定められています。改正を行うときは、市長が任命した委員で構成される「市特別職給料等審議会」の意見を聞いた上で、議会の審議を経て決定されます。

職員の給与なども条例で定められています。改正は、国の人事院勧告に準じて行い、議会の審議を経て決定されます。

1. 職員の任免および職員数に関する状況

(1) 職員の退職の状況（任期付職員を除く）

男	女	計
5人	4人	9人

(2) 職員の採用の状況

（県からの割愛採用と任期付職員を除く）

区分	事務職	技術職	保育士・栄養士
上級	6人	-	-
中級	-	-	3人
初級	-	-	-
社会人	6人	4人	1人
計	12人	4人	4人

(3) 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

部 門	区 分	職員数		対前年増減数
		令和6年	令和7年	
一般行政	議 会	5人	4人	△1人
	総 務	75人	80人	5人
	税 務	20人	20人	-
	労 働	0人	0人	-
	農林水産	12人	11人	△1人
	商 工	4人	5人	1人
	土 木	34人	30人	△4人
	民 生	90人	89人	△1人
	衛 生	25人	25人	-
	教 育	33人	36人	3人
普通会計合計		298人	300人	2人
公営企業等会計	水 道	12人	13人	1人
	下水道	5人	5人	-
	その他	23人	22人	△1人
	小 計	40人	40人	-
合 計		338人	340人	2人

2. 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況（令和7年度決算）

会計	住民基本台帳人口(R8.1.1現在)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)	(参考) R6年度の人件費率
普通	42,777人	21,645,085千円	987,598千円	3,153,705千円	14.6%	15.2%

※ 1. 普通会計とは、一般会計と特別会計の一部をいいます。

2. 人件費には、特別職に支給される給料、報酬などを含みます。

(2) 職員の平均給料月額・平均給与月額および平均年齢の状況

区分	一般行政職			技能労務職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
岩沼市	300,721円	353,219円	39.6歳	304,700円	333,879円	51.3歳
宮城県	330,820円	424,419円	42.3歳	303,311円	342,438円	53.1歳

※基準日は、令和7年4月1日。

※平均給与月額は、平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当、管理職手当、時間外勤務手当などを加えたものです。

(3) 職員の初任給の状況

区分		決定初任給		
		岩沼市	宮城県	国
一般行政職	大学卒	220,000円	227,400円	220,000円
	高校卒	188,000円	196,100円	188,000円

(4) 期末手当・勤勉手当

岩沼市（国の制度に同じ）		
〔支給期別〕	〔期末手当〕	〔勤勉手当〕
6月期	1.250月分	1.050月分
12月期	1.275月分	1.075月分
計	2.525月分	2.125月分

(5) 特別職の報酬等の状況

区分	給料月額など		期末手当支給割合	
市長	給料	950,000円	6月期	1.725月分
副市長	〃	763,000円	12月期	1.775月分
教育長	〃	664,000円	計	3.500月分
議長	報酬	449,000円	6月期	1.725月分
副議長	〃	385,000円	12月期	1.775月分
議員	〃	363,000円	計	3.500月分

10月1日から要望のワンストップ窓口を開設しています

市民の皆さんからの要望などに対するワンストップ窓口を、10月1日からまちづくり政策課内に試行的に開設しました。

担当課が不明確な案件や複数の課にまたがる案件において、要望のワンストップ窓口が市政に対する要望などに関して一定の交通整理を行うことで、市民の皆さんに、より一層ご意見などをお寄せいただきやすい環境を整備することを目的としたものです。

これに併せて、これまで市長公室マーケティング係で受け付けていた市政に対する意見・要望・提案についても、まちづくり政策課（要望のワンストップ窓口）が一元的に受け付けします。

これまでどおり担当課が明確な場合は、担当課に直接ご連絡をお願いします。

問／要望のワンストップ窓口（まちづくり政策課協働交流係内、☎ 22-1113）



▲市ホームページ

市長を表敬訪問しました

岩沼南ブルーウェーブスポーツ少年団の選手と関係者が「河北新報旗争奪第55回宮城県学童軟式野球大会」で優勝したことの報告として市長を表敬訪問しました。(9月15日)

岩沼南小学校6年の菊地桜輝選手は「楽しい試合だった。みんな声を出して頑張っていた。次の大会でも優勝を目指して頑張りたい」と話しました。



▲岩沼南ブルーウェーブスポーツ少年団と関係者の皆さん

市内在住の渋谷香織さんが、日本ボディビル・フィットネス連盟主催の「ALL JAPAN FITNESS CHAMPIONSHIPS」で優勝し、10月にスペインで開催される世界選手権の代表候補に内定したことの報告として、市長を表敬訪問しました。(9月17日)

渋谷さんは「周りの人に協力してもらい、努力した結果が出た。支えてくれた方に感謝している。世界選手権では、海外の選手と並んだ時に自分の姿がどう見えるのかが楽しみ」と話しました。



▲渋谷香織さん (右)

寄付・寄贈いただきました

玉浦中学校生徒会から令和8年熊本地震災害への義援金をいただきました。義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送られます。(①)

東日本大震災以降、支援をいただいている群馬県みどり市のダンスチーム千紫万紅から寄付金をいただきました。寄付金は千年希望の丘の整備に活用されます。(②)

(株)メガネの相沢から老眼鏡20組を寄贈いただきました。一人暮らしの高齢者や高齢者世帯に市社会福祉協議会を通して配布されます。(③)



▲玉浦中学校生徒会の皆さん



▲千紫万紅
遠藤佳世子代表 (右)



▲(株)メガネの相沢岩沼店
遠藤健太郎店長 (右)

岩沼市地方創生総合戦略の 検証結果が報告されました

岩沼市地方創生総合戦略 PDCA サイクル検証委員会から、令和7年度実績の検証に関する報告がありました。(10月5日)

岩沼市地方創生総合戦略の概要や検証結果など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ ▲同委員会 糟谷昌志委員長 (右)

